

し、初一人暮らしだし、醤油の味が違うみたいな話も聞くし、と不安要素盛沢山でした。が、それを拭い去るくらい沢山の魅力があります。私が住んでいた大分県目線で魅力を3つ語らせていただきます。1つ目、温泉。平日でも通える距離にありかつリーズナブル。2つ目、から揚げ。聖地・中津から揚げはニンニク醤油漬け込み。居酒屋のコース料理では必ず出現。3つ

目、街あり観光地あり。何でも揃う博多へのアクセス良好、別府・湯布院の温泉、関アジ・関サバ、関門海峡、南国宮崎、馬刺し、阿蘇、まだまだあります。あまり九州にゆかりがない方も、是非九州の魅力を堪能しにいらしてください！

最後になりますが、同窓会の皆様方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

未来戦略懇談会

“電気・情報未来戦略 –21世紀を拓く情報エレクトロニクス–”懇談会 (略称：未来戦略懇談会) の活動報告

未来戦略懇談会運営委員長 松浦 祐司

電気・情報系『未来戦略懇談会』では、同窓会の皆様をはじめとする会員企業の協力のもと、学生の人材育成に重きを置き、様々な取り組みを行っています。

2008年10月の発足から10年となり、順調に活動を続けております。会員企業も昨年度よりさらに30社ほど増えて約110社となりました(2018年10月末現在)。

未来戦略懇談会では、「研究開発実践論」と「企業フォーラム」を活動の2つの柱としています。「研究開発実践論」は企業における研究開発の実際や大学における研究との違い等について学生が理解を深めることを目的とした、電気・情報系の修士課程の学生を対象とした正規の授業科目で、10月から1月に開講しています。毎回会員企業から講師を招き、自社の研究開発の実践について講義いただいています。企業における研究開発活動の実務の中心となって活躍しておられる方に主として講師を依頼しており、本年度はトヨタ自動車、新日鐵住金、東北電力、東芝、日立製作所、NHK、キヤノン、JR東日本、オリンパス、ソニー、NTT研究所といった幅広い業種やテーマで講義をお願いしております。電気エネルギーシステム専攻、通信工学専攻、電子工学専攻を中心に修士80名ほどが履修しており、履修登録していない学生についても関心のある企業については聴講を勧めています。

もう1つの活動の柱である「企業フォーラム」は、会員企業全社にお集まりいただき、企業における研究開発の状況や企業における研究者・技術者のありよう等について電気・情報系の学生に各社の研究者・技術者から直接情報提供していただき、キャリア教育の観点から企

業と学生の交流を深めていただくイベントです。本年度は2018年12月22日(土)に東北大学片平さくらホールで開催の予定です。



企業フォーラムの様子



研究開発実践論の講義風景